

イノベーションで新しい社会を導く 豊かな未来を創造する充実の組織・運営

国際集積エレクトロニクス研究開発センター竣工

2013年4月、東北大学青葉山新キャンパスに、初の民間100% 拠出となる「国際集積エレクトロニクス研究開発センター（2012年10月設置）」の研究棟が竣工した。



国際集積エレクトロニクス研究開発センターの外観



竣工式の様子

本センターでは、次世代半導体メモリから高性能ボード技術やパッケージング技術、画像処理技術などの幅広い集積エレクトロニクス分野の産学共同研究が既に開始されている。次世代半導体メモリ分野での研究プログラムでは、東北大学が世界を牽引している STT-MRAM（磁気メモリ）の研究開発を、我が国の大学では初となる300mm プロセス試作ラインを整備して国内外の半導体企業・装置企業及び大学・研究機関等と推進している。

このセンターが集積エレクトロニクス技術の世界的研究開発拠点となり、様々な産学共同研究とその中で高度人材育成を通して「東北復興・日本新生の先導」の役割を担い、この分野で我が国の国際的な競争力の強化に寄与するとともに、将来の省エネ社会の実現につながる新産業を創出することが期待されている。

なお、本センターは、宮城県と県内市町村が共同申請を行った民間投資促進特区（情報サービス関連産業）制度の活用、さらに東北大学と仙台市の協定に基づいた固定資産税等相当額の助成など、宮城県・仙台市からの支援を受けている。

学際科学フロンティア研究所 発足

2013年4月1日、「学際科学国際高等研究センター」と国際高等研究教育機構の「先端融合シナジー研究所」が統合する形で、学際科学フロンティア研究所が発足し、4月30日に上掲式が挙行された。

学際科学フロンティア研究所は企画部、先端学際基幹研究部、新領域創成研究部の3つの教員組織から構成されている。今後既存の研究科・研究所からも若手研究者を募集する体制を検討しており、異分野融合による学際的研究所の開拓及び推進に取り組む。

旧両組織の特徴と役割を統合することにより、両組織がもつ学際的融合領域研究を強力に展開するとともに、これらの研究を通して若手研究者の支援・育成を担う機能が期待されている。



情報科学研究科創立20周年記念行事

2012年11月30日、情報科学研究科の創立20周年を記念する式典が開催された。情報科学研究科は1993年4月に日本初の情報系大学院として、また東北大学で最初の独立研究科の一つとして創設された。

式典には来賓、同窓生、学内外関係者あわせて100名近くを迎え、情報科学研究科元教授 小澤正直 名古屋大学教授により「量子情報技術と不確定性原理」と題し、不確定性原理を修正する世界的な発見である「小澤の不等式」について講演が行われた。



パネルディスカッションの様子



里見総長による祝辞

また、特別パネル討論として、「情報科学がつくる未来社会」をテーマに、情報科学研究科5名の教員がそれぞれの分野で取り組んでいる研究内容や現状の課題、そしてその取り組みの中から垣間見える未来像の紹介が行われ、情報科学が創る未来社会への貢献と可能性についてディスカッションが行われた。

金属材料研究所 創立100周年に向けロゴマーク制定

金属材料研究所は、1916年に本多光太郎博士により臨時理化学研究所第2部として創設されて以来、2016年に創立百周年を迎える。この間、金属をはじめ半導体、セラミックス、化合物、有機材料、複合材料などの広範な物質・材料に関する基礎と応用の両面の研究により真に社会に役立つ新たな材料創出のための研究と人材の育成・教育を行ってきた。

来たる2016年5月21日を創立100周年記念日として、記念式典・一般公開などの記念事業を推進するにあたりロゴマークの公募を行い、765点の応募の中から最優秀作品を選びロゴマークを制定した。ロゴマークは、金属材料研究所の「伝統」を「創立当時の建物」で表し、豊かな生活実現への貢献としての「未来」を「連続直線」によって表現したもの。過去の伝統と歴史が未来を創ることを意味している。作者は宮城県工業高等学校インテリア科教諭 大出光一氏。



TOPICS 大学ランキング「総合評価」で9年連続第1位

朝日新聞大学ランキング

高校からの大学評価を示すスタンダードとなっている『大学ランキング』（朝日新聞出版）の2014年版で、東北大学は高校からの評価ランキングの「総合評価」で9年連続、「進学して伸びた」で7年連続して第1位と評価された。これらは、東北大学の日々の教育・研究の内容、学習成果、そして進路指導などが高く評価された結果だと言える。

大学ランキング（高校からの評価）		
総合評価	9年連続	1位
進学して伸びた	7年連続	1位

学術論文引用数ランキング

アメリカの科学データ情報企業、トムソン・ロイターが毎年発表している「論文被引用数世界ランキング」では、東北大学は「材料科学」「物理学」「化学」が世界第6位、12位、28位と昨年に引き続き世界トップ30にランクされた。これらの結果は「研究第一」の東北大学を象徴していると言える。

世界第 6位（国内2位）	材 料 科 学
世界第 12位（国内2位）	物 理 学
世界第 28位（国内6位）	化 学

対象期間：2002年1月1日～2012年12月31日（11年間）